

東京都立浅草高等学校 令和8年度 年間授業計画

教 科：家庭 科 目：家庭基礎

対象学年：2年次

教科担当者：教員一覧参照

使用教科書と教材は別紙を参照

該当教科と科目の目標

【知識及び技能】学習指導要領で示された内容を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】学習指導要領で示された内容について表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】学習指導要領で示された内容について日常生活に活用しようとする態度等を身に付ける。

単位数

2

	指導項目・内容	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	予定時数
4月	単元名：人の一生と生活のマネジメント 知：充実した人生を送るためには、生活時間の配分や計画化および将来の生活への目標や展望が重要であることを理解している。自立とは何かについて理解している。 思：高校生活の課題、自己の生きかた、将来の家庭生活と職業生活のありかたについて考えを深める。自己の生きかたと関連させて考えを深める。 学：自分らしいライフスタイルや生活にかかわる価値観、生活時間のありかた、将来の生活設計について考えようとしている。人の一生を生涯発達の視点でとらえる。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・個人の発達段階の特徴と発達課題を知る。 ・ライフステージについて理解する。 ・自分の生活と自分自身について自己理解を深める。 ・自立と同時に、多様な価値観や生き方を認めて他者と共生する「共生社会」と「持続可能な社会」の実現をめざすことも青年期の課題であることを理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】の3観点について、定期考査、出席状況、平常時の取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価し、評価を行う。	○	○	○	2
5月	単元名：家族・家庭生活のマネジメント 知：家族・家庭に関する法律について理解している。 思：社会制度としての家族について考えを深める。 学：家族・家庭に関する法律に関心をもつ。	・家族と世帯について理解し、現代の家族の特徴と社会とのかわりについて理解する。 ・家庭の機能が各家・族員の協力によって果たされていることを認識し、各自の家庭での役割を考える。 ・家族・家庭に関する法律を理解し、制度としての家族について考える。					8
6月	単元名：経済生活のマネジメント 知：生涯を見通した経済計画の必要性について理解している。 思：経済計画を立てて、経済計画の重要性について考えを深める。 学：家庭経済に関心をもち経済計画の重要性について考える。	・人生を見通した経済計画を立てる必要性と方法を知る。 ・家計管理と資金管理について知る。 ・消費にかかわる契約について理解する。					4
7月	単元名：高齢者の生活のマネジメント 知：高齢にともなう心身の変化と特徴や高齢者の生活実態と課題を理解している。 思：高齢期の生活課題を自己の課題としてとらえる。 学：高齢社会の現状や課題、高齢者の自立生活支援を考える。	・高齢者の心身の特徴を知り、高齢期の生活を充実させるための個人的・社会的方策を考える。 ・高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるようにするために、家族や地域が果たす役割について考える。					6
8月	単元名：住生活のマネジメント 知：健康に配慮した室内環境の整備について理解している。 思：住まいの計画的な維持管理などについて考えを深める。 学：健康で快適に生活するための住まいについて考える。	・住まいや住生活の変化とその要因を知ることを通して、現代の住まいや住生活について考える。 ・すべての人にとって安全な住まいの必要性を理解し、安全に配慮した住まいのありかたを理解する。					0
9月	単元名：衣生活のマネジメント 知：被服材料の種類と特徴や手入れ・保管性を理解している。 思：被服整理や適切な衣生活の管理について考えようとしている。 学：服の快適さを保障する条件について、具体的に考える。	・被服の機能について知り、T.P.O.に応じて、ライフステージに応じて、自分も他人も快適になる被服の着用品ができるようにする。 ・持続可能な社会と個人々のライフスタイルの関連を理解させ、実践に結びつけられるようにする。 ・被服製作実習					6
10月	単元名：子供の生活と子育てのマネジメント 知：親の果たす責任と役割について理解している。 思：地域の子育て支援や子育てを支援する制度について調べる。 学：近年の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考え、よりよい環境を保障するために親や家庭、社会が果たす役割は何かを考える。	・子どもの時期は人としての土台をつくる重要な時期であることを理解する。 ・子どもの人間形成のために必要な親の役割と責任を学ぶ。 ・子どもの権利条約や児童福祉法の理念を知り、子どももおとなと同様、一人の人間として人権をもっていることを理解する。					4
11月	単元名：食生活のマネジメント 知：食事摂取基準、四つの食品群別摂取量のめやす、栄養価計算について活用方法を理解している。 思：家族や自分の食生活と関連させて具体的に考える。 学：健康の保持・増進、生活習慣病予防のためには、1日に必要なエネルギーや栄養素量を把握することが重要であることを認識している。	・食品の流通経路を知り、食品の鑑別や購入できる能力を養う。 ・食中毒の発生原因を知り、防ぐ方法を理解し、実行できるようにする。 ・作成した献立にしたがって調理し、食卓に出しておいしく食べられるようにする。 ・調理実習					6
12月							4
1月							8
2月							2
3月							0